

みんなちがって

久手小学校
特別支援教育だより
令和2年5月7日

みんないい

No. 1



久手小学校では、教職員 全員で、全ての子どもたちが自信をもっていきいきと学校生活

を送れるように、様々な場面で一人ひとりを大切にする教育活動を進めています。

特別支援教育だより「みんなちがって みんないい」では、一人ひとりの児童がいきい

きと学校生活を送れるように、保護者の皆様と手を取り合うための取組をお伝えします。

どうぞよろしくお願ひします。

第1号では特別支援教育の考え方と久手小学校で行われている支援をお知らせしま

す。

○特別支援教育とは？

子どもたちは、みんな「がんばりたい」「できるようになりたい」と思っています。でも、一生けん命やってもできない時があります。そんなことが続くと、やる気がしぼみ自信もなくなります。そういう時に、子ども・家庭・学校などがいっしょに考え、うまくいく方法を見つかるのが特別支援教育です。

○久手小学校で行われている支援とは？（くわしくはNO.2と3でお知らせします）

①通常 の学級 での支援

もっとじょうずに読ん

もっと自分の気持ちを言葉でうまく

②特別支援学 級による支援

だり書いたりしたいな

伝えたいな

③通 級による支援

④にこにこサポートティーチャーによる支援

もっと字を

もっと先生の話 を

⑤特別支援教育 支援員・介助員による支援

おぼ 覚えたいな

集中して聞きたいな



「もっと〇〇できるようになりたいな」という気持ちを支えることで、

実りの多い学校生活になります。そのためには、周りの大人の理解や

本人への適切な支援が大切です。

